

あきる野民報

発行責任者/松平重幸 TEL & FAX 558-0718

住民の利益をまもり、「住民こそ主人公」のあきる野市政実現をめざして!

2009.12.13 No.522 (毎月2回発行)

参院選まで
240日余…

新しい情勢の中—

首都・東京で二つの議席を!

【比例代表】



田村智子 候補

「夫の医療費を払えない」という女性……
仕事がなく駆けずり回る町工場の社長さん……
など、たくさんさんの悔し涙を胸に刻んできました。
どうか私を政治の場で働かせてください。

【東京選挙区】



小池あきら 候補

東京選挙区は国会の論戦を引く張って来た歴史と伝統がある議席。幅広い都民の中に飛び込んで対話を広げ、来年の参院選で東京から日本の政治の未来を一步動かしたといえる結果を出すため全力を尽くします。

いまの情勢は「過渡的な情勢」と位置づけて—

国民の「政治を変えてほしい」という強い願いは、総選挙後も「政治を前向きに動かす巨大な力」として作用し続けています。しかし日本の政治は「異常な対米従属」「異常な大企業中心主義」という「二つの異常」から抜け出ていません。
日本共産党は、いまの情勢を、古い政治に代る新しい政治の国民的な探求の途上と位置づけ「過渡的な情勢」という表現をしています。

このような中で日本共産党の役割は……

過渡的な情勢には、「国民が主人公」の民主的政権という「出口」と、前向きに動き出した政治を逆行させ「二つの異常」の政治の枠内に封じ込めるという「出口」があります。日本共産党は、
① 国民の要求にこたえて現実政治を前に動かす。
② 「二つの異常」をただし、「国民が主人公」の新しい日本を目指す国民的合意と共同をつくる仕事。
③ 日本の政治の反動的逆行を許さない。

という三つの仕事を総力をあけて取り組みます。
来年の参院選は従来とは違った政党配置で

これまでは、野党第一党だった民主党に「問題はあつても、自民党よりまし」という形で支持が集中したが、参院選ではそうはいきません。
いまは自民党の支持基盤が大きく崩れ、民主党に投票した人も認識を前進させていくプロセスのさなかにあります。
たたかいいかんで今度こそ前進・躍進させる可能性ががあります。



たばた あずみ

片付けをしていたら、上の子がちいさいときのファクスが出てきました。「ちっともトイレに行こうとしないよー」。

今やトイレトレーニングなんて放っておいて問題なしと思っていますが、そうか、悩んだりしたんだねえ。思い返せば、散歩だの離乳食だのおむつだのトイレだの、ささいなことにひとりでも迷ったり困ったりしまくっていたのでした。

迷ったり困ったりしながら、子どもとくらしっていっしょに親も育つ。いまでもまだまだ迷います。当時と違うのは、支えてくれる人たちがいること。わたしも誰かを支える力になれているかしら。

(09.12.13)

連絡先は☎550-6674

急告 小池あきら来る

'10年2月7日(日) 午後2時~

所:あきる野市ふれあいセンター

- 参議院議員(2期)、党常任幹部会委員、政策委員長
- 7人の歴代総理と国会論戦44回、マスコミも注目
- 国会質問312回、国民の立場で追及、提案
- テレビ討論に年間70回以上の出演



野良望

第25回党大会の決議案が発表になった。各支部で討議が始まり、練り上げられていく。▼第8章(8)では、「国際条約などの到達点に照らすと、日本の現状がいかに異常かが一目瞭然」として、あらゆる分野で国際条約の基準を日本の常識にする改革を求めてたたかうとしている。▼日本の捜査と裁判の異常もひどい。代表的な問題が世界に類をみない代用監獄だ。国際人権規約(自由権規約)違反だと厳しく指摘されている。逮捕された被疑者は、48時間の取り調べの後法務省管轄の拘留所に拘留されることになっているのに、実際は警察の留置場に戻され最高23日間、長時間の密室での自白強要が行われる。これが、日本でのえん罪多発の温床の一つとなっている。▼葛飾ピラ配弾圧事件の荒川庸生さんが、国連の自由権規約委員会へ直接請求の申し立てができる「個人通報制度」(日本は未批准)も視野に、国際社会に訴えてたたかうという。国際条約についても理解を深めたい。(湘)

沖田国賠訴訟 東京高裁差し戻し審判 控訴棄却の不当判決



痴漢がなかったのに、なんで控訴棄却か？

東京高裁判前に詰めかけた人々から怒りの声が。11月26日に行われた沖田国家賠償訴訟の差し戻し審で大橋寛明裁判長は「原告の控訴は棄却すると損害賠償は認めず、逃げるように法廷を去りました。」

傍聴に百人以上が詰めかけ、秋流地域からも6人が参加しました。判決後、鈴木剛弁護士から報告を受け、不当判決に抗議するシブレヒコールで怒りの拳を突き上げました。

事件は、電車内で携帯電話をしていた女性にやめなさいと注意した沖田さんが、女性から「痴漢をした」とウソの申告をされ、逮捕・拘留されましたが、嫌疑不十分で不起訴に。裁判は、沖田さんが警察と検察、女性に損害賠償を求めたものです。最高裁は、女性の供述を鵜呑みにした二審判決を「審理不十分」として高裁に差し戻したものでした。

報告集会では、判決が最高裁の差し戻しの趣旨にも合わず、不当判決であること。沖田さんも「納得がいかない。上告してたたかう」と表明。参加者は、「ひどい判決だ。上告を決定した沖田さんを支援して今後もがんばりたい」と口々に語っていました。

なお、救援会秋川流域支部では12月12日に支部大会と一緒に、沖田さんなどを招いて判決の報告会を行いました。

報告集会では、判決が最高裁の差し戻しの趣旨にも合わず、不当判決であること。沖田さんも「納得がいかない。上告してたたかう」と表明。参加者は、「ひどい判決だ。上告を決定した沖田さんを支援して今後もがんばりたい」と口々に語っていました。

政治の行方も話す会

五目市日本共産党後援会 12月6日13時半〜



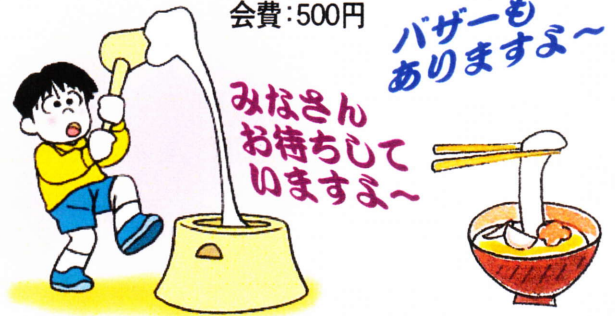
たばた市議が
あいさつと
12月議会を紹介

たばた市議は、3人乗り自転車とヘルメットの補助を求めた質問に市側の「個人責任」という冷たい答弁ぶりを紹介。志位さんの記念講演ビデオが終ると思わず会場から拍手が。参加者からこもこも民主党政権のあやふさが心配だと語られ、だから「草の根の運動が大切」と語り合いました。

東地区日本共産党後援会

恒例の年末もちつき大会

12月13日(日)午前11時〜
所:関口さん宅(558-7648)
会費:500円



問い合わせ:片野坂(559-6468) 一戸(558-8274)

公約も選挙終われば反故紙に本括弧に負けボスターがひびく
感動を多く残して去る今年
癒れたなれ所巡りで老いを知る

蕎麦湯 蕎麦湯 松籟坊 松籟坊

絵手紙と布絵展

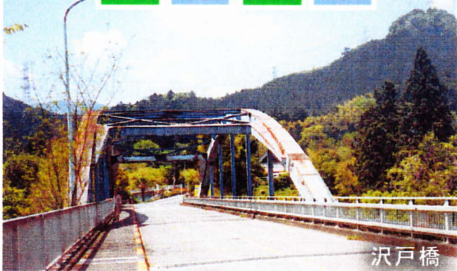
*12月17日まで(11時〜17時まで) 日日月祭日は休み



歴史探訪

第102回

地名考・余談③



沢戸橋

萩原家古文書の多くは嘉永三年(一八五〇)から明治二年(一八六九)の十年間に集中しています。前号で述べた一番古いものから寛政十二年(一八〇〇)までの数は少なく二五五、享和一年(一八〇一)から次第に数を増し、明治十三年(一八八〇)までの八〇年間に大部分が集中しています。最も多い時期は文久一年(一八六一)から明治三年(一八七〇)の十年間で三五六点となっています。項目別では盗難届二五五点を含め「治安凶災」の三三三点が最も多くあります。いつの世にも盗つ人が絶える事はありませんが、古文書では嘉永安政年間(一八四〇年代)に特に多く集中しています。地震や災害などによる困窮生活が関係しているのか、詳しい事は分かりませんが、変わった文書もあり面白く思いましたので、幾つか挙げてみます。一、「異国船渡来二付請書」が五日市村から差し出されています。嘉永六年(一八五三)浦賀にペリーが来航、日本の封建社会に威圧と恐怖を与えました。この事件を村民への広報として請書として書いたのでしょうか。浦賀から遠方の五日市村でも大事件であったのかも知れません。二、「官軍兵食用米金納御免願」慶応四年(一八六七)五日市村の名主から出されています。文字から解釈すると官軍によって幕府が壊滅し、攻め入ってきた官軍兵士達の食糧の為に米や金の供納を迫られたが、事情があつて断りの願いを届けたという事です。(続く) 草花・木崎秀治

俳句

《季語》とんぶりの実を飛ぶ散らし脱穀機 (勝代)
とんぶりの実を飛び散らし脱穀機 (勝代)
父母の秋の便りの荷の届く (るり子)
片照りの月は色増し神の杜 (淑子)
寺紅葉尻にぶ厚き禅枕 (かほる)
ひ孫抱き百菊咲ける大世帯 (照代)
天高き武甲酒蔵の試し酒 (静子)
十二月八日の霞瓦打つ (秀治)
父慶に強き香のあり菊人形 (和恵)
行く秋や茶箱の底の負い紐 (つや)